

概要

- ・H30年の改正医療法により、医師偏在指標等（国算定）を基に、二次・三次医療圏ごとの①医師確保の方針、②確保すべき目標医師数、③目標達成に向けた施策内容を定めた医師確保計画を策定することとされた。
- ・本県の医師数は全国を下回る（標準化医師数2041.2人、27位）ほか、医療圏別では「医師少数区域」に該当する医療圏はないが、地域間偏在や地域内でも偏在が生じている状況。
- ・県民に必要な医療が提供できる体制確保のため、地域間・地域内の偏在是正とともに、全国の医師数が需給均衡する2036年までに本県医師数が全国同水準（必要医師数）となるよう、引き続き、医師確保を進める。

※ 2022年医師数（標準化医師数）：2041.2人 ⇒ 2036年の必要医師数：2143.8人（+102.6人）

現状と医師確保の方針・施策

医師全体

【医師偏在指標の状況と2036年までに確保すべき医師数】

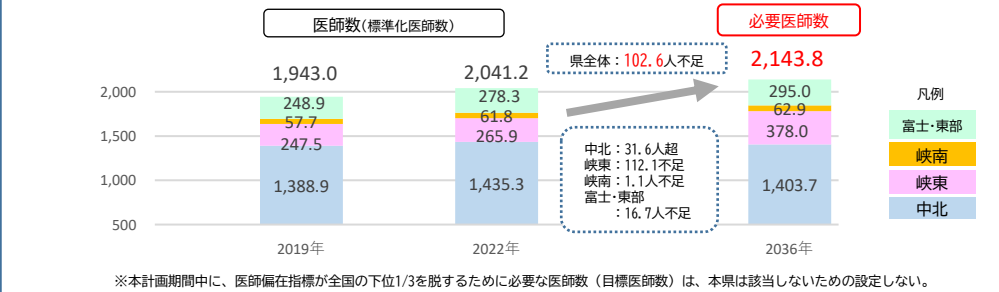
◎ 2022年時点の医師数（標準化医師数。以下同じ）は2,041.2人。
2036年に、本県医師数を全国同水準（必要医師数 **2,143.8人**）とするには、今後102.6人の医師の確保が必要。

1. 医師偏在指標の状況（2019年→2023年）

2019年	偏在指標	順位	位置付け	2023年	偏在指標	順位	位置付け
全国	239.8			全国	255.6（+15.8）		
山梨県	224.9	28位	医師中程度県	山梨県	240.8（+15.9）	27位	医師中程度県
中北	260.5	56位	医師多数区域	中北	271.6（+11.1）	56位	医師多数区域
富士・東部	194.2	118位	医師中程度区域	富士・東部	222.5（+28.3）	102位	医師多数区域
峡南	173.8	180位	医師中程度区域	峡南	198.7（+24.9）	165位	医師中程度区域
峡東	163.1	217位	医師中程度区域	峡東	179.7（+16.6）	222位	医師中程度区域

【凡例】 上位1/3：医師多数県・医師多数区域 中間1/3：医師中程度県・医師中程度区域 下位1/3：医師不足県・医師不足区域

2. 2036年までに確保すべき医師数(必要医師数)



医師確保の方針			
基本的な考え方		全県の医師数が2036年に全国水準となるよう医師確保を進めるとともに、地域間・地域内で生じている医師の偏在是正を図るため、中北医療圏の一部を除いた全県を「医師の確保を特に図るべき区域」と位置づけて対策を講ずる。	
山梨県全域		○ 県内の偏在是正 ○ 2036年における必要医師数の確保	
二次医療圏	中北	甲府市・中央市	他の医療圏からの医師確保は行わず、他の医療圏又は同一医療圏内への医師派遣等により偏在是正を図る
		その他の地域	同一医療圏内での医師派遣等により偏在是正を図る
	峡東、峡南、富士・東部		中北医療圏からの医師派遣による偏在是正と2036年における必要医師数の確保を図る

産科及び小児科医師

【分娩取扱(産科)医師偏在指標】

2019年	偏在指標	順位	医師少数県(区域)	2023年	偏在指標	順位	医師少数県(区域)
全国	12.8			全国	10.5（▲2.3）		
山梨県	14.0	9位	非該当	山梨県	12.2（▲1.8）	8位	非該当
国中	14.5	67位	非該当	国中	13.2（▲1.3）	43位	非該当
富士・東部	12.4	101位	非該当	富士・東部	8.5（▲3.9）	151位	非該当

【小児科医師偏在指標】

2019年	偏在指標	順位	医師少数県(区域)	2023年	偏在指標	順位	医師少数県(区域)
全国	106.2			全国	115.1（+8.9）		
山梨県	129.1	5位	非該当	山梨県	127.3（▲1.8）	9位	非該当
国中	131.9	37位	非該当	国中	123.8（▲8.1）	89位	非該当
富士・東部	112.8	89位	非該当	富士・東部	140.6（+27.8）	41位	非該当

※産科及び小児科については、医師少数区域に該当しないため、目標医師数（偏在対策基準医師数）の設定は不要。

医師確保の方針	
基本的な考え方	県人口減少対策(安心して子どもを妊娠・出産できる環境整備)を踏まえ、産科・小児科の医療体制の強化に向け医師の確保を進める
産科	医師少数県(区域)に該当しないが、身近な地域で安心安全な分娩体制維持のため、既存の医師確保対策を継続し、安定的な医師の確保と地域偏在の是正を図る
小児科	医師少数県(区域)に該当しないが、現在の初期救急医療体制(センター化体制)維持のため、既存の医師確保対策を継続し、安定的な医師の確保と地域偏在の是正を図る

偏在是正と医師確保を図るための施策

① 地域偏在の是正

- キャリア形成プログラムによる医師の配置調整の実施
- 自治医科大学卒業医師の配置調整
- 県立病院機構による医師派遣の推進
- 専攻医等の連携病院への適切なローテーションの推進
- 専門研修連計施設への指導医派遣への支援
- 医師派遣推進事業

○キャリア形成卒前支援プランの実施

② 必要医師数の確保

- 山梨大学医学部等での地域枠制度の継続（山梨大学、北里大学、**昭和大学**）
- 若手医師の海外留学支援
- 研修資金の貸与
- 在宅医療体験研修の実施
- 臨床研修体制の充実
- 山梨県医師研修資金制度による医師の定着促進（地域枠入学者は第2種に限定、専門研修の県内必修化、修学資金返還時の利息等）
- 中高生対象の医学部進学セミナーの開催
- 県内統一産科専攻医研修プログラムの運営に助成
- 魅力ある臨床研修プログラムの創設に向けた研修病院の連携

③ その他

- 地域医療対策協議会主導による推進体制の構築
- 医療勤務環境改善センターを中心に勤務環境改善への支援

○子育て世代の医師に対する支援について検討